

2021

家庭の容器包装プラスチック
使い捨てプラスチック調べ

【447人の声】



2022年3月

大阪府生活協同組合連合会
全大阪消費者団体連絡会
地球環境市民会議 (CASA)

2020・2021プラスチック調べ報告書、プラスチック調べの用紙、
その他の資料は大阪消団連webサイトで公開しています。
<https://hb8.seikyounet.jp/home/o-shoudanren/pra.html>

家庭のプラスチック調べ



家庭のプラごみ調べ 概要

① プラごみ調べの期間

- ・ 2021年7月～12月の間の連続3日以上を参加者が自由に設定

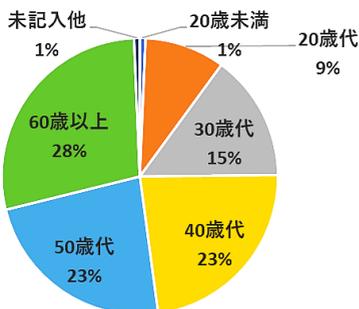
② プラごみ調べの方法

- ・ ごみとして捨てた容器包装プラスチックと使い捨てプラスチック製品の日毎の“数”（大きさ・重さは問わない）を、分類別（通常版32分類、簡易版10分類）に記録

* コンシューマーズ京都作成のフォーマット（2019年）を一部変更して使用

③ プラごみ調べの参加者

- ・ 447人（通常版32分類：88人、簡易版10分類：359人）
- ・ 大阪府内43市町村のうち34市町村と府外16自治体の居住者
- ・ 平均調査日数 3.8 日、平均同居家族人数 2.9人
- ・ 年齢構成



- 目的はプラごみ問題について、日々の暮らしの中で考える“きっかけ”にすることです。
- データの正確性は求めていますので、次ページのプラごみの数・分類はおよその状況としてご覧ください。

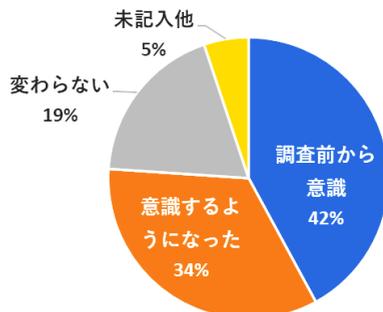
④ 調査後の意識の変化

<設問>

調査前と比べて、買い物やゴミ出しをする時にプラごみについて意識するようになりましたか？

<選択肢>

- 「調査前から意識していた」
- 「意識するようになった」
- 「変わらない」



平均プラごみ数（7日換算合計）は146.8個

- ・プラごみ数の集計は、記入データ不備を除いた375人分（平均調査日数3.8日、平均同居家族人数2.9人）
- ・最多655.7個、最少7.9個（ばらつき大）
- ・食品関係 77%（*分類1～5）
- ・容器包装類 73%（*「容器本体」と「フタ・留具・ラベル・ラップほか」）
- ・製品類 26%（*「製品本体」と「本体」および「食品ラップ」）
- ・レジ袋・ポリ袋7個、配達用袋類 6.8個

1. 飲料・酒				2. 食品				
容器本体			フタ・留具・ラベル・ラップ その他	合計	容器本体		フタ・留具・ラベル・ラップ その他	合計
ペットボトル	ペット以外のボトル	外袋・カップ・トレイ・チューブなど			ペットボトル	ペット以外のボトル・外袋・カップ・トレイ・チューブなど		
8.3	1.3	0.8	7.9	18.3	4.4	41.2	24.5	70.0

3. 添付の使捨食器				4. 自分で購入した使捨食器				5. 食品ラップ	
製品本体	容器本体	フタ・留具・ラベル・ラップ ほか	合計	製品本体	容器本体	フタ・留具・ラベル・ラップ ほか	合計	合計	
2.4	1.9	2.8	7.2	0.7	0.4	0.4	1.4	15.8	

6. 生活用品				7. ペット			
製品本体	容器本体	フタ・留具・ラベル・ラップ ほか	合計	製品本体	容器本体	フタ・留具・ラベル・ラップ ほか	合計
6.6	5.6	5.7	17.9	0.4	0.4	0.3	1.1

8. レジ袋・ポリ袋			9. 配達用の袋類			10. その他・不明		
本体	その他	合計	本体	その他	合計	容器本体	その他	合計
6.0	1.0	7.0	6.0	0.7	6.8	0.7	0.7	1.5

総合計	平均値	146.8
	最大値	655.7
	中央値	123.7
	最小値	7.9

ごみ数	50	50~	100~	150~	200~	250~	300~	350~	400~	450~	500~	550~	600~	650~	700~
内訳	未済	100	150	200	250	300	350	400	450	500	550	600	650	700	
人数	64	88	66	62	37	25	21	5	1	2	1	1	1	1	
構成比	17.1%	23.5%	17.6%	16.5%	9.9%	6.7%	5.6%	1.3%	0.3%	0.5%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	

消費者447人の声

不要と感じた容器包装プラ・使い捨てプラ

①食品の多重包装

- ・ 100件以上で最も多かったのが、食品の多重包装。
「今回、スーパーの食品売り場がごみの山に見えた」
- ・ そのうちのほぼ半数を占めたのがトレー。
「野菜・果物、肉、魚、冷凍食品、菓子などに不要なトレーが」
- ・ 菓子などの個包装が不要との声は30件近く。
「外包装を紙製にできないか」
「個包装の有無を選択できるように」との声も。
- ・ 野菜・果物の外包装にも「無くて良いものが」



②ペットボトルのラベル 45件



③添付のストロー、スプーン類 20件以上



④ balan、飾り 15件



⑤その他

- ・ 宅配の梱包材が不要、多すぎる（10件超）
- ・ レジ袋をつい買ってしまふ、レジ店員が小分けするポリ袋・買物を詰めるサッカー台に置かれているポリ袋（10件超）
- ・ 弁当、総菜、テイクアウト等の容器（10件超）
- ・ ダイレクトメールの封筒、食品添付の調味料、ペットボトル、衣服類の包装・留め具・タグ（5件）
- ・ パン留め具、たまごパック、化粧品外箱のフィルム（4件）



■不要と感じないとの声も

- 「プラスチックに代わるものが思いつかない」
- 「今の時代、個包装をしていないものには不安」など。

プラごみを減らす工夫、提案、意見①

<消費者の取組>

① プラでないものに変える・選ぶ

- ・自然素材を使う・選ぶ
ラップの代わりに容器、シリコン、蜜蝋などを使う、
綿棒は紙軸、台所スポンジを麻ひもたわしに、植木鉢は素焼
- ・できるだけ手作り
弁当を買わない、お茶は自宅で沸かしマイボトル、
炭酸水メーカーを使う、野菜・花を家庭菜園・貸し農園で
- ・ばら売りしている店で買う

② プラ量を減らす・少ないものを選ぶ

- ・不要なプラを買わない、大容量・詰替用を使う
- ・ごみ量を減らして小さいごみ袋を使う

③ プラを断る

- ・お店で断る、「いらない」「そのまま」で伝える
- ・エコバッグを使う、マイ箸・マイスプーン・マイカップを使う

④ プラを再利用する

- ・プラ包材をゴミ袋に使う、ヨーグルトパックで野菜保存

⑤ リサイクルする

- ・きちんと分別、積極的にリサイクル

⑥ その他

- ・処分することを考えて購入する
- ・ポイ捨てしない
- ・買い物回数を減らす
- ・プラごみ減らしの工夫を子どもに教える
- ・地球規模の危機感を持つ
- ・脱プラ先進国に学ぶ
- ・事業者の取組を知る
- ・食品メーカー、販売店に声をあげる
- ・一人ひとりが少しずつでも行動する

プラごみを減らす工夫、提案、意見②

<事業者・行政（国）の取組>

①プラでないものを増やす、消費者が選択できるようにする

包装の簡素化、自然素材の開発、ビンでの提供、量り売り・容器持参を広げる（割引を付ける）、事業者が回収・リユースする商品を販売、野菜の袋入り販売をやめる、緩衝材を紙製に、ラベルをはがしやすくしリサイクル容易に、給水器を設置する

②制度を変える

スプーン・ストロー等使い捨てプラ製品の禁止・有料化、ペットボトル飲料の廃止、自販機にペット飲料を置かない、プラの価格を上げる、事業者負担で回収・リサイクル・廃棄する、ペット・プラ・トレーの回収ステーション設置、分別排出にポイント、トレー、たまごパックの自治体・自治会での回収、自治体のリサイクル・ルール統一、レジ袋の代わりに指定可燃ゴミ袋を販売

③啓発など

学校・自治体の啓発・取組強化、リサイクル後にどう活用されているかを知らせる、ペットボトルのキャップ集め等キャンペーン実施、脱プラ先進国に学ぶ、心にゆとりのある暮らしができる世の中に

「プラごみの多さ」の声

- ごみ箱に捨てるたびに「正」を書き足していく作業が1日の中でとてもひんぱんに、それだけゴミが多いんだなと思いました。
- 1日生活する中で、こんなにプラを使っていたことを知り、びっくりして怖くなりました。意識していなかったら、どんだけあるのか。
- 実際に数を数えてみると、プラごみの多さに改めて気づくことができました。食品関連のプラゴミは普段から多く感じていたが、生活用品のプラゴミが思ったより多く、意外でした。
- コロナ禍でテイクアウトが増えた。テイクアウトするとプラスチックがすごく増える。

様々な感想・意見の声

- 世の中がプラスチック製品に頼りすぎているのが考えさせられました。知らず知らずのうちにプラスチック製品を選び、購入していたので、購入する時から意識を持つ事が改めて大切であるか再確認できました。
- 昨年調べた時、あまりの多さにびっくりしたので、それから意識して生活するようになり、今年は少し減ったように思います。そのおかげか最近プラゴミが減って嬉しいです。
- プラゴミが、生ごみや一般ゴミよりどんどん増えていると感じます。今年は、個包装や個別使用が増えたので、更に増えてしまいました。
- はかり売りがもっと広がればいいと思う。家庭での工夫には限界があると感じるので企業レベルでの取り組みが望ましい。
- これは自分たちの考えなくやっける行動が見える化すること。みんなやってみてって感じ。そしてその後、どう考えるかをたくさん書いてもらいnext stepの提案を、又みんなとやればどんどんすばらしいアクションが広がると思う。
- どうやったらプラゴミが減るか考えることが楽しかったです。節水・節電・節プラですね！
- プラスチックごみが川から海に流れ、やがて太陽光などでマイクロプラスチックになり、魚の口に入り、それを食べる人間に。これからどういう影響があるのか心配です。
- プラだけですごい量を捨てているのにびっくりした。それを分別して捨てて再利用する手間と努力は大変なので、最初から不必要なプラゴミを減らしていくように消費者、販売者それぞれ頑張らないといけないと思った。
- 事業者の取組を知る機会があると消費者としてできることを知るきっかけにもなって良いと思う。
- 便利なプラスチックなのでなくならないし、忙しい時など利用してしまいます。買い物から家に持ち込まないようにプラスチックを見つめていきます。
- 家族で分別が徹底してできているので満足です。これからの子ども達の未来のためにキレイな地球を守っていきたいです。

家庭のプラごみ調べ2021 まとめ&呼びかけ

(1) 自分が捨てるプラごみを見つめることから

* 日々の暮らしの中で気づき、考える“きっかけ”として

(2) 科学の知見に学び、プラごみ対策の緊急性を共有しましょう

* 科学が明らかにしつつあるリスク（生態系汚染・温暖化の一因、人体への影響）を放置せず、対策を

(3) 3Rの優先順位で、それぞれ大胆な取組を進めましょう

* リデュース（減量）を最優先に→リユース（再利用）→リサイクル（再生）の順番で

(4) プラごみ減らしを楽しみましょう

* 自分の暮らしを見直し、少しずつでも

(5) 企業・行政にも「声」を届けましょう

* 消費者の役割の一つとして



プラごみ減らしを楽しむ

- プラごみ減らしを義務的に取り組んでも、長続きしないのではないのでしょうか。それよりも、プラ以外のものを探すこと、プラ以外の素材の良さを見つけること、環境への影響を少し減らせたと感じることなど、プラごみ減らしを暮らしの中で楽しんでみませんか。
- それぞれの暮らしの中で、プラスチックの有用性が必要な場面はたくさんあり、時と場合に応じて変わっていきます。その変化の中で、自分にできそうなことをやってみる（負担であれば元に戻す）ことの繰り返しを大切にして、暮らしの見直しをしていきましょう。
- プラごみ減らしを楽しくできたら、家族、職場、友人など周りの人と共有したり、SNSで発信したりして、楽しさを広げましょう。

<お問合せ>

全大阪消費者団体連絡会（大阪消団連）

大阪市中央区内本町2-1-19-430 TEL.06-6941-3745（平日10～17時）

e-mail : o-shoudanren@mb8.seikyoku.ne.jp